

地域リハビリテーション支援センターだより

(神奈川県リハビリテーション支援センター)

2020年4月発行 NO-77

地域リハ支援センター



波乱に満ちた新年度の幕開け

この四月より令和二年度の始まりとなりました。昨年暮れに中国武漢で新型コロナウイルスの感染報告が世界に配信されてからもう四ヶ月となります。正月を迎え新年会など年明けの行事が進む中、中国武漢での惨状の深刻さが伝えられ、同時に中国の行事である春節が近づき日本への新型コロナウイルスの拡大の懸念が増して行った記憶があります。中国の方々が春節を前に多数来日されていることに不安を覚えていたところに、ダイヤモンドプリンセスという大型クルーズ船が横浜港に接岸し、三千七百人という乗客が防疫感染対策として船に留めおかれ、毎日伝えられる感染者数の増加に固唾をのんでいたのが過去のようなのです。その後イタリアを始めEU各国での感染拡大、イタリアでの驚くような死者数に新型コロナウイルスの恐ろしさを実感しました。そして米国の新型コロナウイルスによる感染者数と死亡者数には驚きを超えて恐怖を感じる状況となりました。日本でも四月に入り首都圏など人口の多い都市部での感染拡大が著しくなり四月七日には国より緊急事態宣言が発令されるに至りました。世界中が大混乱に陥り日本も例外ではなくなりました。医療機関だけではなく地域社会に暮らす人々も真剣に取り組まなければいけない事態に直面しております。私ども神奈川県リハビリテーション支援センターも何か支援できることはないかと模索しているところです。年間で計画しているリハビリ専門相談、リハビリテーション研修、高次脳機能障害セミナー並びにリハビリテーションケアフォーラムも八月末までは全て中止としました。現状では、年度後半の研修などの計画が実施できるか予断を許さない状況です。しかしながら、新型コロナウイルスの感染の脅威が収束した時には速やかに活動を再開し、今回の社会的混乱を教訓にして高齢化や災害など社会的混乱に強い地域社会を目指して事業を再開したいと思います。皆様におかれましては、三つの密集を避け、感染予防と自分自身が加害者とならないようにマスクの着用、石鹸や消毒薬による手洗いと上気道を健康に保つうがいの励行を心がけて頂き、一日も早く平常の生活に戻ることを願って、新年度のご挨拶に返させていただきます。

神奈川県リハビリテーション支援センター所長
村井政夫



(地域支援室メンバー)

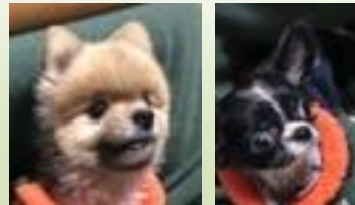


(高次脳支援室メンバー)

就任の挨拶

はじめまして。

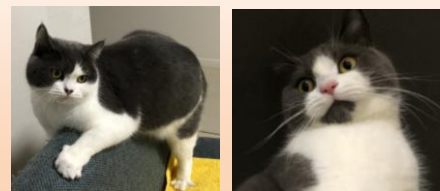
今年度より地域リハビリテーション支援センターに配属となりました小川と申します。古くは学園→七沢自立支援ホーム（旧更生ホーム）→総合相談室と異動をしてきました。神奈川県内の行政、事業所の方々とはかつてどこかでお世話になっているかも知れません。この場をかりてお礼を申し上げるとともに、今後は地域リハビリテーション支援センターの一員として、地域の皆様と一緒に協力できればと考えます。どうぞ、よろしく願いいたします。（SW 小川 淳）



はじめまして。

今年度から地域リハビリテーション支援センターに配属となりました、作業療法士の清水里美と申します。埼玉県にある回復期病院を経験後、神奈川リハビリテーション病院に就職しました。長いこと入院の患者様中心に支援を行って来ました。

今回、地域で生活する障がい者の方々に携わるという新しい分野に緊張と不安でいっぱいです。まわりのスタッフに助けをもらいながら、地域で生活する方々に貢献できるようがんばりたいと思います。よろしく願いいたします。（OT 清水 里美）



2020年4月より高次脳機能障害相談支援コーディネーターとなりました瀧澤です。2007年度から2016年度までの10年間にわたり支援コーディネーターを務めたのち、地域リハ支援センターのソーシャルワーカーとして難病や脊髄損傷・知的障害の方の加齢に伴う身体機能変化等の相談業務を行って来ました。4年ぶりに戻ってまいりました。

思い返せば、2007年は障害者自立支援法が施行されたばかりで、相談支援事業所等も十分に機能していない状況の中、地域の支援者と手さぐりで高次脳機能障害の相談体制や日中活動先の確保を行って来ました。その後、地域での相談会等を開催する中で、家族会であるNPO法人脳外傷友の会ナナの会員さんや地域支援者と連携しての当事者・家族会開催、医療従事者と福祉関係者が協働して具体的な支援方法を学ぶ機会としての「事例検討会」を実施しました。あるいは、神奈川県には3つの政令指定都市があり、それぞれの活動や方向性を確認するための「政令市との情報交換会」開催や、高次脳機能障害に特化した事業所が増えるにしたがって一般事業所からの相談等が寄せられるようになったことを受けて、支援困難事例等の情報交換会を行う「ネットワーク連絡会」の企画を行い、地域の支援力向上とネットワーク強化をはかって来ました。

現在、神奈川県内での高次脳機能障害支援の体制は整いつつありますが、今後は地域で質の高い包括的なリハビリテーションを受けて社会参加につながったり、自己効力感を抱いて生活していける体制を整える必要があると考えています。

まだまだやり残した課題が山積しているという思いでの再登板となりました。白髪とシワが増えましたし、新型コロナウイルスに出鼻をくじかれた感はありますが、前回の10年間以上にアグレッシブに事業に取り組んでいきたいと思っておりますので、今後ともご指導をよろしく願いいたします。（SW 瀧澤 学）



第16回かながわりハビリテーション ・ケアフォーラムの中止について

開催を心待ちにいただいている方々に、中止のお知らせをするのは大変心苦しい限りですが、新型コロナウイルスの蔓延状況を考え、再度中止といたしました。

今年度中に開催できることを信じ調整しておりますが、感染状況を見ながら進めてまいります。今後の情報は、当センターのホームページ、facebook を見ていただきたいと思います。また、今年度計画しておりました研修会は、8月末まで中止とさせて頂き、以降の計画についても、見直しをしているところです、毎年度、多くの方々に受講していただいている研修会ですが、今後の情報をお持ちください。

一部の施設様には、「2020年度の地域リハビリテーション支援センター研修会のご案内」をお送りさせていただいておりますが、一度白紙とさせて頂き、今後の計画が決まり次第再度お送りさせていただきます。

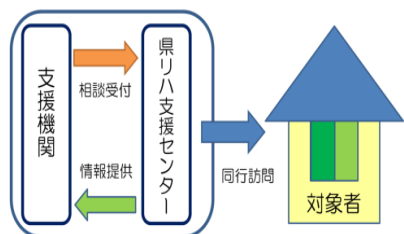
このような状況にご理解いただくとともに、「だより」を見ていただいております皆様のご健康を願っております。

神奈川県リハビリテーション支援センター副所長
磯部貴光

地域支援室



平日
046-249-2602
9:00~17:00



リハビリテーション専門相談

昨年度の相談件数は300件で、前年(295件)とほぼ同じ件数でした。新規の相談は113件から150件と増加しております。内訳では、例年相談件数の多い神経・筋疾患だけでなく、内部疾患や視覚障害等幅広い内容の相談が増加しています。また、相談内容もより専門化している印象です。訪問件数は42件で、これも前年(41件)とほぼ同じ件数でした。訪問目的では、最近の傾向を反映して、重度障害者に対するコミュニケーションツールの相談が増加しています。

ここ数年で各地域での連絡会が充実し、以前より地域でのリハビリテーション環境も整ってきているように感じております。その中で、地域のニーズを探りながら、少しでも地域支援者のサポートとなれるように引き続き活動していきたいと思っております。(小泉 千秋)

◆平成31年度相談件数◆

4~3月	新規	継続	電話	訪問	来所	メール
脳性麻痺	16	19	25	9	1	0
神経・筋疾患	30	64	64	24	1	5
脳血管障害	24	5	26	1	2	0
脊髄疾患	6	11	10	2	5	0
脊髄損傷	11	17	23	1	4	0
骨関節疾患	2	2	4	0	0	0
後天性脳損傷(除CVA)	16	5	20	0	1	0
知的障害	8	4	6	5	0	1
内部疾患	0	0	0	0	0	0
その他(切断・加齢等)	35	19	52	0	0	2
不明	2	4	6	0	0	0
合計	150	150	236	42	14	8

4~3月	訪問	来所
補装具・福祉用具機器	26	5
環境整備	3	0
身体機能評価	10	3
ADL指導	0	0
訓練プログラム指導	0	0
介護指導	3	1
支援内容検討	0	4
医療	0	1
その他	0	0
合計	42	14

地域リハビリテーション支援センター専門研修報告

2019 年度地域リハビリテーション支援センター専門研修報告

2019 年度は、26 コースを予定しておりましたが、1 コースが中止となり、25 コースが開催されました。研修内容は神奈川リハビリテーション病院で行われている専門的な対応を基にした研修や、リハビリテーション専門相談で地域から相談の多い内容を加味して企画しました。新規の研修では、コミュニケーションツールに関わる研修として、「身体障がいのある方への IT 支援」研修を行いました。また、知的障害者の加齢に伴う機能低下に対する対応を含めた研修として、「知的障害の方の身体機能低下への対応」、「からだにやさしい介助入門」、「からだにやさしいポジショニング」の研修を行いました。以前に比べて地域からのニーズが変化し、より専門性も高まっているため、研修内容も多岐にわたっています。今後も引き続き地域のニーズに答えられる研修を行っていききたいと思います。



2020 年度地域リハビリテーション支援センター専門研修報告

2020 年度は 24 コースを予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から、8 月末までの研修がすべて中止になりました。研修講師を依頼していた方々及び参加を希望されていた皆様には、ご迷惑・ご不便をおかけすることとなりました。なお、9 月以降の研修に関しましては、日程等含め再調整を行い、新たな予定で開催していきたいと思っております。その際には、当支援センターのホームページ等でご連絡させていただきますので、ご確認いただければと思います。引き続き今年度も、地域リハビリテーション支援センター研修をよろしく願いいたします。(PT 小泉 千秋)

[研修の詳細・お申込みはこちらをクリック](#)



地域リハ支援センター



◆お問い合わせ（平日/8:30~17:15）◆

電話）046-249-2602

担当：小泉・清水

編集後記

不要不急の外出を避け、ステイホームしているといふ夜更しをしまい生活のリズムを狂わせてしまいます。不規則な生活は、免疫力を下げてしまいます。

早寝早起きは三文の徳です。(Early to bed and early to rise, make a man healthy, wealthy and wise.) y,i

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢 516
神奈川県総合リハビリテーション事業団
地域リハビリテーション支援センター
TEL:046-249-2602 FAX:046-249-2601